

# 嶮山小通信

7月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/kenzan/>

校長 山口 昭代

## 「夏が、くる！！」に備えます

校長 山口 昭代

7月を目前に、今日もプールからは、子どもたちの、元気いっぱいな色とりどりの声が聞こえてきます。水の中では心も体も開放されて、気持ちよく学習が進められているのだろうなあ、と改めて感じているところです。

しかし、ここ数年の猛暑、熱暑、酷暑と言われる気温の高さと、それに伴う、熱中症に関する危険度は増すばかりで、水泳学習と言えども、いえ、水泳学習であるからこそ留意しなければならないことが多くあります。

横浜市教育委員会では「横浜市立学校 熱中症対策ガイドライン」【試行版】を策定し、「WBGT計」(※1)を各学校に4個ずつ配布、各学校はこれらを活用して、児童生徒の安全を最優先に考えたルールづくりの指針として熱中症対策を行っていきます。

### ※1 暑さ指数 (WBGT) とは

◎熱中症予防のための指標です。

- ・人体と外気との熱のやりとり(熱収支)に着目した指標で、人体の熱収支に与える影響の大きい①湿度②日射や輻射など周辺の熱環境③気温の3つを取り入れた指標です。単位は気温と同じ摂氏度(℃)で示され、労働や運動時の熱中症予防に用いられています。

嶮山小学校では、「WBGT計」を運動場側職員室外と体育館とプールテント下に三か所設置し、一つは携帯用として7月からは毎日、環境条件を把握した上での熱中症予防を進めていきます。時には雨の日のように、熱中症予防の必要から外遊びができなくなる日もあることをご理解ください。

同様に、水泳学習時の見学児童についても、暑さ指数によっては、プールサイドでの見学を行えません。水泳学習に参加することが難しいお子さんは、自宅から学習課題を持参し、職員室や保健相談室等で2単位時間分の学習を各自で進めることとなります。体調不良については決して無理をしないでほしいですが、限りある水泳学習ですので、当日までに調子を整えるなどして、積極的に学習参加ができますように、ご家庭でもお声かけください。

また、7月4日に予定されている全校遠足も、徹底した熱中症対策をとり、安全第一に活動したいと思えます。

○児童が自己管理できる範囲での熱中症予防のグッズを工夫して持たせてください。

○食中毒防止のために、お弁当の中身や保管、炎天下の持ち歩きについての工夫をお願いします。(清潔調理と加熱の徹底、ラップやアルミホイルの利用、冷ましてから詰めること、汁気なし、保冷剤や保冷バッグの活用等)

○水分が足りない・・とならないように、水筒とペットボトル(水・お茶・スポーツドリンク)の持参を忘れないでください。

夏の日を、安全に楽しく過ごすために、環境の変化にも対応していく力が求められます。知恵と工夫と見通しで、乗り切りたいと思えます。

保護者のみなさま、地域のみなさま、関係のみなさま、7月も嶮山小学校の子どもたちがお世話になります。どうぞよろしくお願ひいたします。

運動場側に設置したWBGT計

